

「学部・学府一貫教育プログラム」について

1. 趣 旨

「学部・学府一貫教育プログラム」は、将来大学院修士課程を経て専門研究者や専門職を目指す意欲と能力のある学生を早期に選抜し、学部と大学院の両課程を貫いて育成するための特別プログラムで、九州大学経済学部在籍する3年次以上の学生のうち、①学部の成績が特に優秀である者、もしくは②演習（ゼミ）指導教員の推薦を受けた者が選抜対象となる。

本プログラムへの参加を許可された学生は、4年次前期から「学部・学府共通科目（学部特別専門科目）」の履修が認められ、さらに4年次前期にプログラム参加学生向けに実施される大学院経済学府修士課程「特別選抜試験」に合格すれば、最短5年間（学部4年間＋修士1年間）で、学士及び修士の双方の学位を取得することも可能となる。こうして、学部4年間でより高度な専門的知識を身につけることができると同時に、大学院修士課程科目の早期履修によって、複雑さと多様さを極める現代社会の問題解決能力と深い洞察力・分析力を相対的に短期間で獲得することができる。

2. 実施要項

(1) 定 員

15名程度とする。学科ごとに最低人数は、経済・経営学科6名、経済工学科4名とし、残りの5名程度は総合評価により選抜する。

(2) 募集時期

毎年度、10月に募集要項が発表される。

(3) 参加資格

以下の①あるいは②に該当する者。但し、3年次編入学生は対象外とする。

①以下の(1)～(3)のすべてに該当する者

(1)3年次前期終了時点で、卒業に必要な基幹教育科目の単位を全て修得していること。

(2)3年次前期終了時点で、卒業に必要な基本科目の単位（経済・経営学科:20単位、経済工学科:28単位）を含む学部専攻教育科目を48単位以上修得していること。

(3)専攻教育科目の成績優秀者（3年次生の上位20%以内）

②演習指導教員による推薦を受けた者

【注】4年次以上（例：海外留学より帰国した4年生）の学生が本プログラムに参加を希望する場合は、3年次生の参加資格に準じて選抜する。

(4) 選抜方法

学部成績、学習計画書、推薦書および口頭試問の結果を総合して選抜する。

(5) プログラム学生が履修する学府科目

本プログラムに参加する学生は、学部在学中に、経済工学専攻及び経済システム専攻が開設する「学部・学府共通科目（学部特別専門科目）」及び「リサーチ・ワークショップ」を履修することができる。（本『学生便覧』21項参照）

3. 大学院経済学府修士課程への進学

「学部・学府一貫教育プログラム」への参加を許可された学生は、4年次前期（通常は6～7月）に実施される九州大学大学院経済学府修士課程「特別選抜試験」を受験することができ、当該試験に合

格すれば、学部卒業後、修士課程に進学することができる。

学部4年次に履修した学府科目の取扱い、および修士課程を1年で修了するための条件は以下の通りとする。

(1) 4年次に履修した学府科目の取扱い

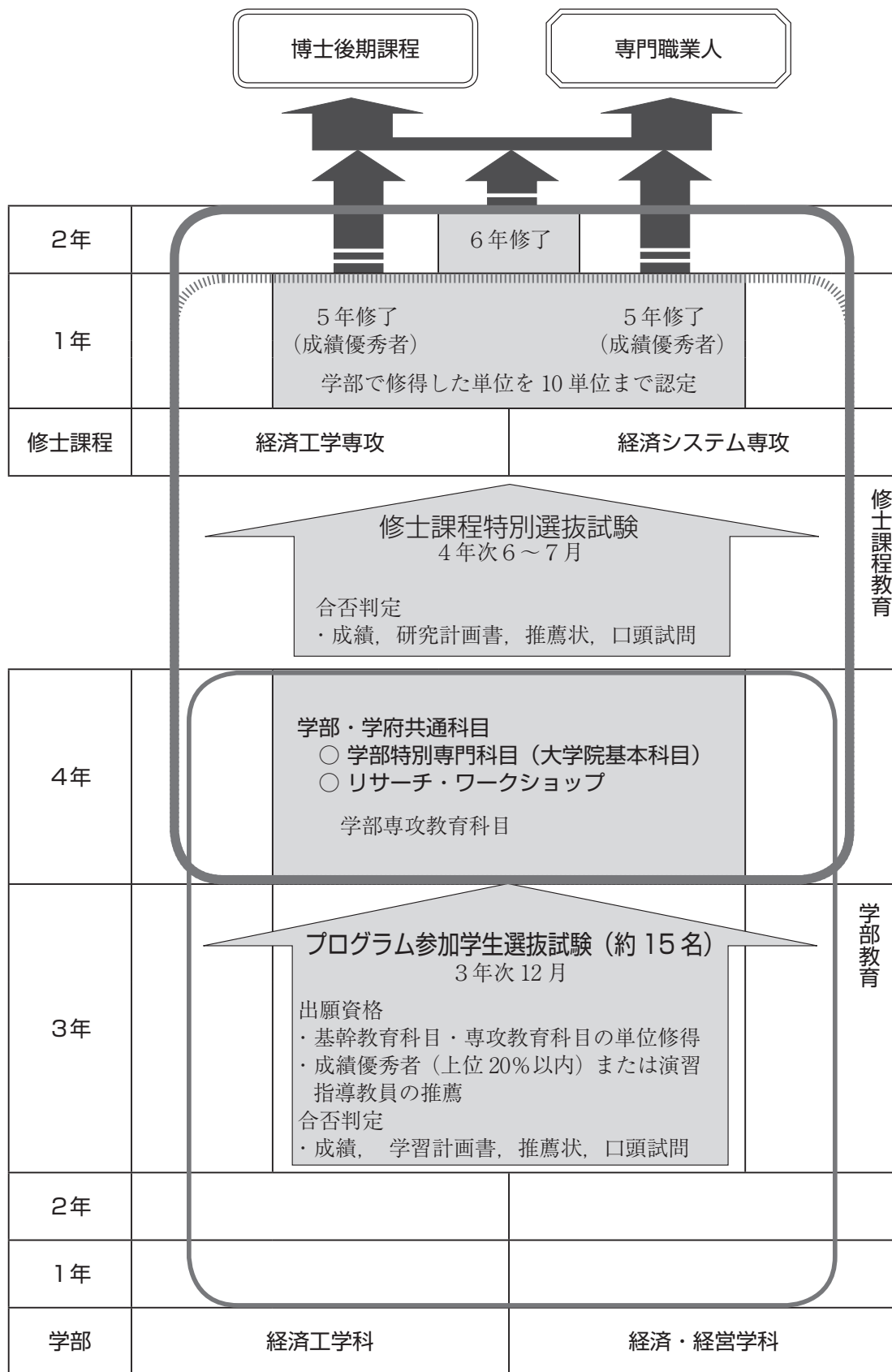
- 1) 学部4年次以上に修得した修士課程科目のうち、10単位までは大学院進学後、入学前の既修得単位として認める（学府規則第16条の規定による）。
- 2) 学部4年次以上に修得した修士課程科目のうち、入学前の既修得単位として認める10単位を超える修得単位は、学部の修得単位として認定し、学部の成績簿に記載する。ただし、学部の卒業要件には含まない。
- 3) 経済工学専攻に進学した場合は、経済工学専攻が開設する「学部・学府共通科目（学部特別専門科目）」及び「リサーチ・ワークショップ」以外の単位は、修士課程の修了要件の単位に含めることはできないので注意すること。

(2) 修士課程を1年間で修了するための条件

「学部・学府一貫教育プログラム」に選抜された学生が、学府規則第19条の規定により修士課程を1年で修了するときは、以下の二つの条件を満たさなければならない。

- 1) 修士課程の修了に必要な単位を修得していること。《各専攻の修了要件については、経済工学専攻：経済学府規則第10条第1項、経済システム専攻：経済学府規則第10条第2項を参照のこと》
- 2) 修士論文の審査において主査1名及び副査2名を置き、全審査委員からAを取得すること。

「学部・学府一貫教育プログラム」の編成



学部・学府共通科目（学部特別専門科目）

授 業 科 目 名	単位数	備 考
経 済 学 方 法 論	2	
(大学院)ミクロ経済学Ⅰ	2	
(大学院)ミクロ経済学Ⅱ	2	
(大学院)マクロ経済学	2	
(大学院)計 量 分 析	2	
(大学院)応 用 数 理 Ⅰ	2	
(大学院)応 用 数 理 Ⅱ	2	
(大学院)計 算 基 礎	2	
上 級 経 済 統 計	2	
上 級 統 計 計 量 分 析	2	
上 級 財 政 シ ス テ ム	2	
上 級 金 融 シ ス テ ム	2	
上 級 国 際 金 融	2	
上 級 資 本 市 場 シ ス テ ム	2	
上 級 世 界 経 済	2	
上 級 国 際 経 済 政 策	2	
上 級 貿 易 投 資 分 析	2	
上 級 情 報 経 済	2	
上 級 開 発 経 済	2	
上 級 国 際 農 業 政 策	2	
上 級 日 本 経 済 論	2	
上 級 産 業 分 析	2	
上 級 産 業 配 置	2	
上 級 産 業 構 造	2	
上 級 日 本 経 済 史	2	
上 級 西 洋 経 済 史	2	
上 級 市 場 経 済 史	2	
上 級 産 業 社 会 史	2	
上 級 経 営 学	2	
上 級 応 用 経 営 学 Ⅰ	2	
上 級 応 用 経 営 学 Ⅱ	2	
上 級 財 務 会 計	2	
上 級 原 価 計 算	2	
上 級 管 理 会 計	2	
上 級 国 際 会 計	2	
アジア多国籍企業特研	2	
アジア経済調査論特研Ⅰ	2	
アジア経済調査論特研Ⅱ	2	

履修上の注意

- ・学部特別専門科目の修得単位は、卒業要件に含めることはできない。
- ・修得した単位は、本学大学院経済学府修士課程に進学した場合、10単位を限度として既修得単位として認定される。
- ・履修にあたっては、指導教員の指導のもと担当教員の許可を得なければならない。
- ・通常の履修届とは別に「特別専門科目履修届」を貝塚地区事務部教務課学生第四係（経済学部担当）に届け出なければならない。